

半数の組合員の年休が 年休は絶対に流さない 半年間の取組みの結果

私たち東海労は、昨年10月から半年間、全組合員で「年休は、絶対に流さない！」を合い言葉に、調査をしてきました。

この取り組みは、分会役員だけに任せるのではなく組合員一人ひとりが「なぜ年休が入らず、流れるのか」を直接、科長や助役に聞くことで職場の実体を浮き彫りにしようという取り組みでした。

残念ながら、調査で、約44%の組合員が年休を流してしまうことが明らかになりました。

その結果、約半数の組合員の年休が入らないばかりか、年休が流れてしまう理由もハッキリと浮き彫りになりました。

理由を聞くと、科長も助役も口をそろえて言います。

「要員の関係」「需給の関係」「抽選番号が悪い」
最悪なのは「日勤に降りている人が多い」と、お門違いなことを平気で言う始末です。

さらに、申込日に入らない時には別の日に＝時季変更してほしいと言うと、

「時季変更は皆が、休みがいらなくても年休を申し込むため、申し込みがビッシリ入っている所以他の日への変更はむづかしい」と社員に責任を転嫁し、挙げ句に「何か良い方法を考えて提案してくれ」とまで言って、開き直っています。

私たちは取り組みの過程で

「このままでは今年も年休が流れてしまう。事前に改善策を明らか

にし、最悪でも当面の措置として流れる年休の買い上げを検討するよう」に、と申し入れました。

しかし幹鉄事は、業務委員会の開催を拒否しました。その後、経営協議会でも改善を求めましたが、

「要員は年休発給を前提に配置している」「年休希望の競合や多客期もあり発給できないこともある」「結果として20日の取得が出来ないこともある」と、結果のみを回答し、対策を出さないのです。

組合員のみなさん！

ユニオン・国労組合員のみなさん！

職場の管理者も、幹鉄事も原因は、要員が足りないということ認めています。

申し込みが競合したり、多客期が問題なら、そのような日以外の「入る日」を責任をもって、職場で社員に明らかにするのが筋です。

リニア建設のためには15年も20年も先のお客様の動向や収入を計算するのに、なぜ、たかが3年4年先の要員計画が明らかに出来ないのでしょうか。

会社に、解消しようという気があるのでしょうか。

あるなら教えます。解決の方法は唯一、要員の確保です。

断じて 認められません

私たち東海労は、年休が流れなくなるまで取り組みを続けます。

ユニオン組合員のみなさんは、年休を流しませんでしたか？ 流れていたら、なぜ流れるの？ 交渉はしているの？ と分会役員に聞いてみてください。科長と助役にも、国労組合員のみなさんはどうですか？

いずれにしても、黙っていては安全も私たちの健康も家族の安心も得られなくなってしまう。

一人ひとりの行動で、この職場を何とか変えましょう。

共に、声を出し続けましょう！